F1 ゼミ V-3 クラス　　担当:真島豊

ディベートテーマ「個人で加入すべきは医療保険か、個人年金保険か？」

全体の概況（健康保険と厚生年金に加入する場合を想定）
健康保険 vs 医療保険
健康保険：強制加入、事業主と被保険者で保険料を負担（折半負担）
　　保険料額＝報酬×保険料率（8.2%）、月収２２万円の場合１．８万円
　　医療費３割負担　（高額医療（限度額適用認定））
医療保険（例）：終身、月３０００円　病気の保障、入院給付（１万円／日）

公的年金 vs 個人年金保険
公的年金：強制加入、事業主と被保険者で保険料を負担（折半負担）
　　保険料額＝報酬×保険料率（7.67%）、月収２２万円の場合１．７万円
　　６０歳まで振り込み、６５歳から受給、
　　受給総額は、支払った保険料の２．３倍
　　月十数万円～（収入に依存）
個人年金（例）：２４歳加入、月１万円、６５歳から１０年間受給　月５．３万円

上記を踏まえた上での、医療保険 vs 個人年金保険

議論のポイント：
医療保険と個人年金保険は対立するものではありません。
ここでは、会社等に就職した際に必ず加入する健康保険や公的年金保険などではなく、任意で加入する医療保険と個人年金保険のことを想定しています。

皆さんが働くようになった際のことを考えてみて下さい。皆さんが頂く給料の中から、医療保険、個人年金保険の費用をどのように振り分けるかということについて説得力のある論旨の展開をしてもらえればと思っています。

感想：肯定側、否定側共にテーマの趣旨を良く理解しており、良いディベートでした。
　　聞き手側のディベートの判定理由が、それぞれ良く分析してありました。